

4月9日 福岡市議会議員選挙



中山  
いくみ

市議会議員  
(早良区)

# 大軍拡・大增税に NO!の審判を “軍拡賛成派”自・公・維など

岸田政権がすすめる軍事費2倍の大軍拡。暮らしを押しつぶす大增税や社会保障のきりすてをまねく大問題です。

この軍拡は日本を守るためのものではなく、アメリカが海外で戦争をするさいに自衛隊が参加するためのもので、国際法違反の先制攻撃に加担し、そのために日本や福岡が報復を受けるおそれがあるもの。防衛大臣も「大規模な被害」を認めています。

この危険な軍拡に、きっぱり反対しているのは日本共産党だけ。共産党を伸ばして、自民・公明・維新などの「軍拡賛成派」に審判をくだしましょう。

平和まもる **日本共産党** 大きくのばしてください

市政  
でも

## 市長提案に100%賛成の政党・議員 では、チェックができません

自民党、公明党、令和会（維新など含む）、市民クラブ（立憲、社民など含む）はこの4年間、市長から出された議案が914本に対して反対は0。100%賛成です（※）。こうした会派が議席の8割を占めます。

日本共産党は467本に反対。48%には賛成しています。「なんでも反対」ではなく「いいものはいい、悪いものは悪い」としっかりチェックしています。

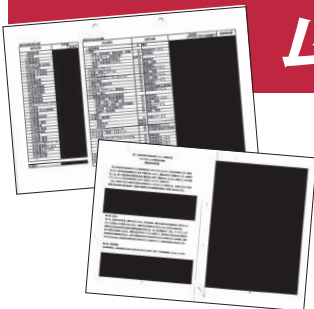


会派名	市長提案に賛成	反対
日本共産党	447	467
自民党、自民党新福岡	914	0
公明党	914	0
福岡令和会	914	0
福岡市民クラブ	914	0

※「福岡令和会」は維新などの議員を含む。「福岡市民クラブ」は立憲民主党・社会民主党などの議員を含む。  
※2019年6月議会～2023年2月議会

## ムダ・不正の追及なら やっぱり共産党!

### 世界水泳 電通丸投げでいいのか 徹底追及



共産党が入手した世界水泳の経済効果試算、電通などの契約書

福岡市で開かれる予定の巨大スポーツイベント世界水泳選手権。その業務委託を、市は東京五輪で汚職・腐敗が大問題になっている電通に業務委託。共産党が契約内容や経済効果の根拠を求めても、黒塗りでも明らかにしようとしませ

ん。事業費や市負担は当初の2.5～3倍にふくらんでいます。中山市議は2020年に議会で質問し、市長に対して中止を迫りました。日本共産党の追及は、朝日新聞（2月18日付）などで大きく報道されました。

4月9日 福岡市議会議員選挙

あなたの願いをたくせるのは  
どの党・どの議員ですか？

## 学校給食の無償化

実現まで  
あと  
一歩

### 署名の筆頭紹介議員 になり、採択求める



早良こども食堂の関係者や新婦人※1  
早良支部、無償化を求める飯倉の会が  
取り組んだ学校給食の無償化を求める  
請願署名。学校関係者からも約300筆  
の協力があるなど、切実なものです。

2月7日の福岡市議会で審査され、  
中山いくみ市議は筆頭の紹介議員※2と

して請願の趣旨を説明し、採択を  
呼びかけました（継続審査となり  
ました）。

この4年間、議会でくり返し無  
償化を迫ってきました。無償化へ  
力を尽くします。

※1 新日本婦人の会（国連NGO） ※2 「紹介議員」とは地方自治法124条で定められた、地方議会への請願書を提出するために必要な議員のことです。「筆頭」紹介議員は、紹介議員を代表して、請願の趣旨などを議会で説明し、他の議員の質疑を受けます。



引き続き  
市政へ送って  
くださり！

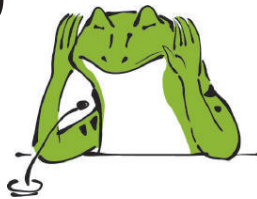
日本共産党

# 中山 いくみ

福岡市議会議員（5期目）。福祉都市委員会。党市議団団長。  
1960年長崎県生まれ、日本福祉大学卒。社会科教諭として、  
18年間、中学校に勤務（早良中、城香中、西陵中、原中学校）、  
卓球部顧問。趣味はギター。

## 加齢性難聴 補聴器の購入補助

### 「採択」主張は中山市議だけ 自民党は「不採択」主張



年をとって聞こえにくくなっている人のために補  
聴器購入に補助を——2月6日の福岡市議会で請願  
署名が審査され、中山市議は紹介議員になりました。  
市側に実現を求める発言をし、「採択」を主張したの  
は中山市議だけ。他の議員は採択に賛成せず、自民  
党はなんと「不採択」を主張しました（継続審査と  
なりました）。実現へ今後も取り組みます。

実現へ今後も  
ねばりよく  
取り組みます

## 後期高齢者保険料引下げ

### &窓口負担2倍化の撤回 求める質問 ただ1人だけ



中山市議は、県の後期高齢者医療広  
域連合議会のメンバー。保険料引下げ  
と窓口負担2倍化の撤回を求める質問  
を行った唯一の議員です。住民から同  
様の請願が行われましたが、紹介議員

も中山市議1人だけでした。

こうした中で、今期の保険料の引  
下げを実現させました。

さらなる引下げをめざします。

## 国民健康保険料 10年値上げ許さず

中山いくみ市議は市国民健康保険運営協議会  
の委員として、国保料引下げを一貫して主張。

引上げ答申が出されそうになった時（2012年）  
は、やめるように論戦し、他の委員と協力してス  
トップさせるなど10年間は値上げを食い止めて  
きました。抜本的に引き下げるよう引き続きがん  
ばります。

国保料引下げ署名を届ける市民と中山市議（右端）



## 子どもの医療費助成 18歳まで拡大！ 粘り強い質問がみのる

子どもの医療費助成が18歳まで拡大しまし  
た（入院は無料、通院は自己負担が残る）。

中山市議は初当選以来、子どもの医療費助成  
の拡充を求め、市民の運動と協力してきました。  
この4年間も議会で粘り強く市長に求め、前進  
したものです。引き続き、完全無料をめざします。